



図236 出土地の位置
5万分1地形図「新潟」

森下古銭出土地 北区森下

森下古銭出土地は、森下集落の北西側、阿賀野川右岸の旧河道の自然堤防上にあり、現在は水田になっている。

昭和三十七（一九六二）年、畑の土取り作業中に大量の古銭が入った瓶子が偶然見つかった。瓶子を埋めるための特別な遺構はなくて、瓶子は直立して埋まっていたという。その後、瓶子と古銭は豊栄市博物館に寄託され、現在、館で保管されている古銭は約六・三キログラムである。

古銭は、すべて中国で鑄造されたもので、唐の開元通宝（六二一年初鑄）から明の永樂通宝（一四〇八年初鑄）まで、唐・北宋・金・南宋・明の五王朝、八〇〇年にわたる幅広い年代のものが含まれている。

古銭が入っていた瓶子は、古瀬戸の灰釉瓶子で、口の一部を除き完全である。大きさは、高さ二三センチメートル、口径五・三センチメートル、底径九・四センチメートルで、西蒲区館ノ腰遺跡の瓶子（図一二四）と比べて一回り小さく、ズングリした形である。鎌倉時代後期（十四世紀初めころ）のものとして推定されている。古銭の年代から、この瓶子が埋められた時代は十五世紀中ごろから後半と考えられる。

中世後半には、中国銭が大量に輸入されて流通していた。また、木箱や珠洲焼の甕などに銭



図238 古瀬戸灰釉瓶子

跡なのかもしれない。
出土地は、こうした伝承の名残をとどめる遺
帯は大小三六の寺坊が建ち並ぶ一大霊場とし
て栄えたという伝承が残っている。森下古銭
指定天然記念物「高森の大ケヤキ」のそばえ
る丘がある。丘の頂上に建つ薬師堂は白鳳期
(七世紀後半〜末)の開山といわれ、付近一



図237 中国銭

貨を入れて埋めることは広く行われており、市区にも、西区
赤塚や西区木山などに例がある。しかし、森下のように瓶子
に銭貨を入れて埋める例は全国的にも珍しく、貴重な例であ
る。銭貨を地中に埋める理由については、戦乱を避けるため
の備蓄とする説や、何らかの呪いまじなとする説などがあるが、よ
く分かっていない。

森下古銭出土地のある一面は、「ゲンミヤシキ」とも通称
され、地元では昔のお屋敷があった場所といわれている。ま

た、遺跡の南約〇・五キロメートルには、県